

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2026年2月16日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
  - : **死者27.5~32.5万人、死傷者約120万人**(CSIS26年1月27日)
  - : **死傷者約121.3万人**(英国防省26年1月14日)
- 「ウ」軍: **死者約5.5万人**(ゼレンスキー大統領26年2月4日)
  - : **死者最大10~14万人、死傷者50~60万人**(CSIS26年1月27日)
- 「ウ」市民: **死者1万4,999人、負傷者4万0,601人**(UN26年1月12日)

- ゼレンスキー大統領は、**敵目標の80%以上が無人機**によって破壊されており、無人機の大部分は「ウ」製であるほか、25年だけで約82万の敵目標を無人機で破壊したと表明(1月26日)
- 「ウ」軍参謀本部は、過去24時間に前線において235件の衝突が発生し、うち63件がドネツク州**ポクロウスク**方面、37件がザポリヅヤ州**フリアイポレ**方面、28件がドネツク州**コンスタンチノフカ**方面、21件が**ドニプロペトロウスク州**方面で発生した旨発表(2月16日)
- 露国防省は、1月5日にスミ州**フラボウスケ**、9日にドネツク州**ボンダルネ**を解放したと発表

- 露国防省は、**中距離弾道ミサイル「オレシュニク」**を含む長距離精密誘導兵器やUAVで「ウ」UAV製造施設等への大規模攻撃を行った旨公表(1月9日)
- 「ウ」軍総司令官は、22年の侵略開始以降、**露が使用したミサイルは1万3,300発以上**で、**攻撃用無人機の数**は**14万2,300機以上**である旨言及(1月13日)
- 英国防省は、露が、**2025年に「ウ」に対して約5.5万機の自爆型無人機**を発射し、これは2024年の約5倍に相当する旨指摘(1月16日)
- ゼレンスキー大統領は、**電力分野の非常事態を宣言**し、1月21日時点で首都**キーウ市**の**60%が停電**している旨表明(1月14日、21日)
- ゼレンスキー大統領は、露が1月だけで、**6,000機以上の無人機**や**約5,500発の誘導滑空爆弾**、**158発の様々なミサイル**を「ウ」に発射し、そのほとんどがエネルギー施設や鉄道などインフラを標的にした旨表明(2月1日)
- 露メディアは、露国防省のデータによれば、2月16日までの**1週間で少なくとも1,308機の「ウ」無人機**が露領土上空で迎撃・撃墜されたと報道(2月16日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域

- ゼレンスキー大統領は、国防省の**ブダノフ情報総局長を大統領府長官**に任命すると発表したほか、**フェドロフ第一副首相兼デジタル転換相を国防相**に起用することを提案(1月2日)
- 仏パリにおいて、米「ウ」参加のもと「有志連合」首脳会合が実施され、「ウ」の**安全の保証に関するパリ宣言**が発表。また、英仏「ウ」3か国は、和平合意が成立した場合の「ウ」への軍展開に関する意向書に署名(1月6日)
- 「ウ」国防相(当時)は、**過去半年間で220万機の多様な無人機**が軍に供給されており、特に1,500機の迎撃用無人機が毎日軍に供給されていると表明(1月13日)

- UAEの首都アブダビにおいて、**米・ウクライナ・露高官**が、22年2月の侵略開始後初となる**3か国直接協議**を実施(1月23日、24日)
- 「ウ」国防省顧問は、**スターリンク**を用いた**「シャヘド」無人機**による露攻撃を確認したとし、「ウ」国防省の要請で米スペースX社が一時的な対抗措置を講じた旨発表。(1月25日、30日)
- 「ウ」国防相は、「ウ」国内における**スターリンク**使用が登録制になる旨発表(2月1日)



国土地理院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等